

平成 23 年度 2 学期終業式メッセージ

平成 23 年 12 月 22 日

激動の 2011 年もあと 10 日足らずで終わろうとしています。今年は、東日本大震災と原発事故が起こり、日本全体が悲しみ、自信を失った 1 年だったと思います。それと同時に、この不幸な出来事は、私たち日本人の価値観と生き方を見直す契機になりました。

他人の痛みを分かり、思いやる気持ち。自分にできることは何かないかと自ら行動を起こす人たち。その根底にあるのは、自分だけが幸福で居られることへの居心地の悪さです。

利己主義の反対の利他主義、英語で言えば、Egoism に対し Altruism です。そして、それを何の見返りも期待することなく、純粋に Voluntary にできることが日本人の美德の一つだと思います。普段、誰だって、90%以上は自分の損得を基準に考えます。残る 5%、3%でいい、自分のことより他人のことを優先できる日本人でありたいと思います。

話は変わりますが、来年 1 月 14 日からセンター試験が始まります。特に、3 年生の皆さんには、大切な冬休みになることと思います。ちょっと以前の進路ニュースにルイ・パスツールの言葉が載っていました。「チャンスは準備された心にのみ降り立つ」。積み上げてきて、準備されたものは、Potential として外に現れるチャンスを窺っている。内に無いものは、外に出てくることはありません。

大事なことは、内なる Potential をタイムリーに顕在化させること。そのためには、本番でいつもの自分を演じられるかどうかのポイントです。私の経験から言えば、当日まで普段のリズムを崩さないことが大切だと思います。マリナーズのイチロー選手が、打席に入る前に、屈伸運動をして、バットを立てて捧げる仕草をする。毎度きまった形を繰り返すことで「いつものイチロー」を演じるように、本番手前まで毎日繰り返しやってきたことを淡々とこなす。こういう目立たない普段のルーティンや習慣の中に「勝利の女神は宿る」ように思います。1 年生も 2 年生も、すでに進路が決まった人も、これから頑張る先輩や仲間にエールを送りましょう。

それでは、皆、風邪など引かず、良い年を迎えてください。